

## 大規模なソーシャルデータから価値を創出する

大澤 昇平 筑波大学大学院システム情報工学研究科

筑波大学大学院システム情報工学研究科博士前期課程在学中。ソーシャルネットワークからのデータマイニングの研究に従事。shohei.ohsawa@kde.cs.tsukuba.ac.jp

私たち人間は、多くの人との社会的関係の中で生活をしています。友人関係や家族関係などがその一例です。こうした個人間の関係は、「ソーシャルネットワーク」というネットワーク構造で表現することが可能です。実社会のソーシャルネットワークは、多くの人同士の関係が絡み合い、巨大で複雑なものになっています。さらに、こうした関係は目に見えるものではないため、個人が知ることができるソーシャルネットワークの範囲は「自分と関係のある人、もしくはその周辺の人だけ」という、広大なネットワーク全体に対してきわめて狭いものになります。それでは、このように人間は自分の周りの人間の情報しか入手できず、自分と離れたところで形

成されている社会的関係を知ることはできないのでしょうか。近年、SNSの登場により、この疑問は解決されようとしています。

mixi や Facebook, Twitter に代表される SNS では、個人のプロフィールや友人関係をサービス内の情報として蓄積しています。そのため、SNS を利用することで、他の利用者のことや自分以外の人同士の関係を知ることができます。実際、SNS を通じて「この人とこの人って実は知り合いだったのか」と知った経験をされた読者も多いかと思います。mixi を例に挙げると、マイミクや、日記にコメントするというアクションを社会的関係とみなすことで、1つのソーシャルネットワークを構成できます。こうした SNS に内在するソーシャルネットワークは、研究者が自動的に収集できることから、現在ではこれらが新しい研究の対象として注目されています。

ソーシャルネットワークの領域における研究の1つとして、可視化があります。私の研究では、SNS の分析と、その可視化を行っています (図-1)。

### ソーシャルとブラウジングの融合

2006 年度上期の未踏ユースで、私は netPlant という検索エンジンと、swimmie (図-2) という名前のソーシャルブックマークサービスを研究開発しました。検索エンジンとソーシャルブックマークというあまり関連がないように思えますが、これらは互いに連携しながら、ユーザに新しい価値を提供します。ユーザは、ブックマーク内で、各ページのカテゴリ分けを行っております。そのため、ブラウザに蓄積されたこの情報を利用することで、Web ページのカテゴリ分け (分類) が可能になります。

NetScape の生みの親が作ったブラウザ、Rockmelt では、Facebook とブラウジングの連携を実現しています。このように、ソーシャルとブラウジングの融合は、今後も発展していくと思われます。

(2011 年 9 月 5 日受付)



図-1 可視化された Twitter コミュニティ。影響力の高い少数の大きなコミュニティと、その周辺にある多数の小さなコミュニティが確認できる。



図-2 ブラウザでソーシャルブックマーク。他のユーザのブックマークが表示されている。